

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	50.0%	自校A B層の割合	60.0%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	41.7%	自校A B層の割合	49.2%

## 目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週案計画にて、思考内容の授業か、知識主体の授業かの精査</li> <li>教科毎にPDCAサイクルを意識した授業の徹底</li> <li>児童の学習活動を明確化</li> <li>授業のユニバーサルデザイン化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数指導の実施</li> <li>単元の特性を踏まえた、少人数編成の実施</li> <li>東京ベーシックドリルの活用</li> <li>上小岩検定の実施</li> <li>業間休みを活用した、基礎学習プリントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の家庭学習計画表の作成指導への活用</li> <li>「study week!」を核とした、ドリルパークの取り組み強化</li> <li>発達段階に応じた学習時間をを提示し、計画的に家庭学習に取り組む</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能の指導において学力の向上の可視化</li> <li>支援が必要な児童の課題把握、アセスメントの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不合格者へのサポートを放課後補習事業者と連携して実施</li> <li>ドリルパークで苦手分野の復習を実施</li> <li>担任による放課後補習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「study week!」期間中の計画表を通じた家庭との連携</li> <li>児童に応じた家庭学習の指導</li> <li>通級教員と連携した個別課題への取り組み</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力調査 「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」 肯定的な回答→80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者→90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」 1時間以上の回答割合 →70%以上</li> </ul>